

平成28年度 武雄市立山内西小学校 学校評価計画

1 学校教育目標	2 本年度の重点目標
やる気いっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい 輝く 山内西の子	① 基礎基本の確実な定着と思考力・表現力・活用力の向上 ② 周りの人を大切にする気持ちの育成

重点目標を具体的に評価するための項目や指標を盛り込む



3 目標・評価				
①基礎基本の確実な定着と思考力・表現力・活用力の向上				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	● 学力の向上	基本的な学習習慣・態度の定着	・家庭と連携し、学習習慣の充実を図る。	・「学びのすすめ」「西っ子よい子のくらし」を活用する。 ・「学力向上たより」を月1回発行し、学校の取組みを報告する。 ・保護者に学校の取組みを理解してもらい、協力を求める。 ・「家庭学習のてびき」を配布し、学習環境を整えるよう保護者に協力を求める。
		基礎基本の定着と思考力・表現力・活用力の向上	・単元テストでは8割以上の正答率を目指す。 ・全国、県学習状況調査で4教科県平均以上を目指す。	・学習意欲が高まるよう、板書やノート指導などを工夫する。 ・学び合い活動を取り入れた授業を実践する。 ・習熟度別少人数授業を取り入れ、学力の底上げを図る。 ・ICT機器活用の授業を工夫し、児童の興味関心を高める。 ・テスト前にプリントを使って復習し、テストへの意欲をもたせる。 ・つまずきの多い問題を取り上げて指導する。 ・「音読タイム」「計算タイム」を計画的に実施し、基礎的な力をつける。 ・「やる気タイム」では、担任・級外・管理職のTTで個別指導を行う。 ・教師の指導力向上のための校内研究に取り組む。
	● 教育の質の向上に向けたICT利活用教育の実施	ICT機器の効果的な活用	・ICT機器の積極的活用により、「授業が分かる」児童90%以上を目指す。	・朝の「Shu-Chu-Trainタイム」を計画的に実施する。 ・校内研でICT機器を使った授業を行い、効果を検証する。 ・活用方法のミニ研修会を開くなど、OJTを推進する。 ・スマイル学習の実施率を上げ、効果的に活用する。
	○ 読書活動の推進	家読の習慣づけの推進	・毎月ノーテレビ・ノーゲームデーの家読を90パーセントを目指す。	・多読者表彰をするなどして読書を奨励する。 ・年間目標冊数を設定し、目標を達成するよう意欲をもたせる。 ・図書館便りで学校での取り組みを紹介し、保護者に関心をもってもらう。 ・ノーテレビ・ノーゲームデーの家庭での取り組みを紹介する。 ・8時から朝読書ができるよう放送委員会が啓発活動を行う。
②周りの人を大切にする気持ちの育成				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	● 心の教育	支援が必要な児童への対応	・児童一人一人が落ち着いて生活できるようにする。	・職員連絡会で気になる児童についての情報の共有をする。 ・コーディネーターは日常的に担任等と支援方法を話し合う。 ・情報の共有からケース会議等への支援体制につなげる。 ・事例によってはSC、関係機関への連絡につなげる。 ・要支援児童に配慮した学習指導方法について研修する。
		気持ちのよいあいさつと返事・言葉遣い	・生活ふり返り週間での自己評価を90%以上にする。	・「生活ふり返り週間」に自己評価をさせて意識をもたせる。 ・委員会と連携し、「あいさつ運動」を実施する。 ・学校便りやHPなどで「あいさつ運動」の様子を紹介し、称賛して意欲を高める。 ・集会や放送での児童の話し方が全校の手本となるように指導を継続する。
	○ 立腰教育の推進	立腰の時間の徹底・継続	・集会や掃除の前の1分間の立腰を、全員がきちんとできる。	・掃除の前にきちんとできている児童を褒めて意識を高める。 ・「生活ふりかえり週間」に自己評価をさせ、出来たことを褒める。 ・掃除の自己評価は後始末まで含めて評価をさせる。 ・「生活ふりかえり」を3か月おきくらいに集計し、全体の様子を把握して指導する。
	● いじめ問題への対応	いじめを許さない環境の構築	・「いじめゼロ、優しさ100」を目指す。	・アンケートを各学期に1回実施し、状況の把握に努める。 ・いじめ防止対策委員会で情報を共有し指導の徹底を図る。 ・「ふれあい道徳」への保護者の参観を呼びかける。 ・「校内人権週間」を設け、全クラスで授業実践をする。 ・人権意識の育成を目指し、集会や学習の機会を設定する。 ・道徳の資料や教材を整備し、道徳指導の環境を整える。
本年度の重点目標に含まれない評価項目・共通評価項目				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	○開かれた学校づくり	学校教育活動の情報公開	・積極的な情報発信を心がけ、ホームページの掲載記事を毎週更新する。	・ホームページ管理権限者を増やし、チームで更新する。 ・ICT支援員の協力を得て、更新の機会を増やす。 ・職員はHPの更新を意識し各種行事などの様子を記録する。
		保護者・地域との連携	・授業参観やPTA総会等の出席率を向上させる。 ・前年度実績以上の地域人材活用を推進する。	・日曜日に総会を開催するなど、参加しやすい環境を工夫する。 ・PTAと協力してPTAの目標である「参加型PTA」を推進する。 ・保護者も参加できる授業や学校行事を計画する。 ・クラブ活動、やる気タイム等で地域人材の活用する。 ・学習ボランティア活用の「勉強がんばろう月間」を3回実施する。 ・家庭科の授業では、家庭科ボランティアに協力してもらう。
教育活動	● 健康・体づくり	健康な体づくり	・完全自力登校率90%以上を目指す。	・入学式やPTA総会等で保護者に自力登校を呼びかけ、協力してもらう。 ・集団登校を継続して行い、近所の児童が声を掛け合って登校するようにする。 ・地区児童会で集団登校や自力登校について指導する。
		衛生的な生活の意識の向上	・衛生面の意識を高め、清潔検査90%以上の達成率を目指す。	・清潔検査を毎週月曜日に行い、衛生的な生活を意識させる。 ・保健委員会が清潔検査の結果を全校に知らせ、意識を高める。 ・学級においても、掃除後の手洗いを呼びかけ習慣化を図る。

●は共通評価項目、○は独自評価項目